

本市の新型コロナウイルス感染症の状況

令和2年11月6日（金）

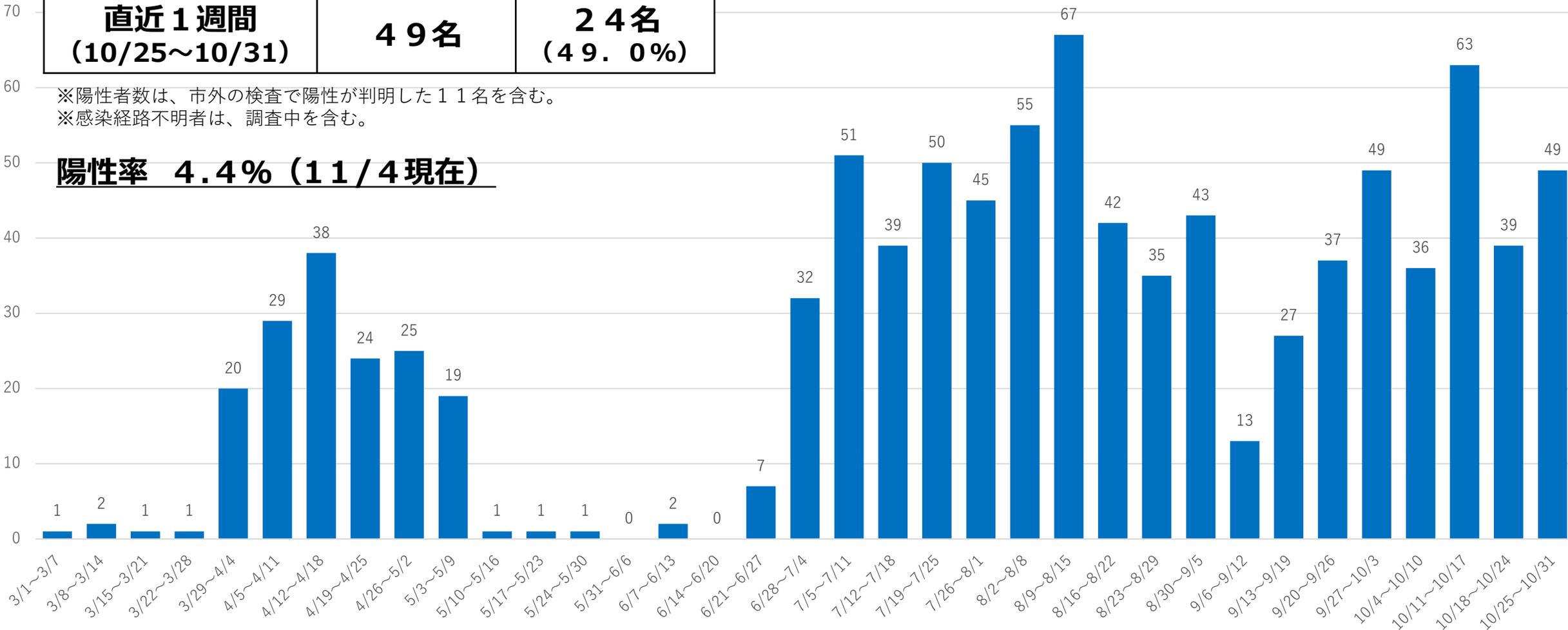
市長定例記者会見

本市の新型コロナウイルス感染状況

	陽性者数	感染経路不明者
累計 (11/4現在)	973名	363名 (37.3%)
直近1週間 (10/25~10/31)	49名	24名 (49.0%)

※陽性者数は、市外の検査で陽性が判明した11名を含む。
 ※感染経路不明者は、調査中を含む。

陽性率 4.4% (11/4現在)



※数値等は速報値として公表するものであり、後日変更になる場合があります。

クラスター発生状況及び対策について

○9月以降に本市で発生したクラスターによる感染者数

※（ ）内は市民の感染者数

接待を伴う飲食店			劇団	合計
フィリピンパブ	キャバクラ①	キャバクラ②	劇団稽古場	
13名 (11名)	7名 (5名)	22名 (10名)	76名 (14名)	118名 (40名)

大宮南銀座地域を対象とした広域検査の実施状況

対象者 大宮南銀座地域の接待を伴う飲食店の全従業員（無症状者）

期間 10月21日（水）～11月中旬 終了予定

○検査実施状況（11月5日21時現在）

通知発送店舗数	申込み数	検体回収数	検査結果判明数	
				うち陽性者数
201店舗	626人[72店舗]	442人	203人	2人

劇団でのクラスターに対する埼玉県との調査実施

○埼玉県と合同で劇団稽古場の現地確認及び聴き取り調査を実施（10月22日）

○現地確認や埼玉県が行うアンケート調査の結果をもとに、今後検証を実施予定

高齢者施設へのクラスター対策[調整中]

高齢者施設への新規入所者のうち、希望する方を対象としたPCR検査実施を検討

感染リスクが高まる場面と感染防止対策①

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



感染リスクが高まる場面と感染防止対策②

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

利用者

- ・飲酒をする場合は、①**少人数、短時間**で、②なるべく**普段一緒にいる人**と、③深酒、はしご酒などはひかえ、**適度な酒量**で。
- ・箸やコップは**使い回さず**、一人ひとりで。
- ・座席の配置は、**斜め向かい**に。（正面や真横はなるべく避ける）
- ・会話するときはなるべく**マスク着用**。
 - フェイスシールド、マウスシールドはマスクに比べ効果が限定的であることに留意が必要
- ・適切に換気されているなど感染防止対策をしている**ガイドラインを遵守したお店**で。
- ・体調が悪い人は**参加しない**。



店舗

- ・従業員の体調管理やマスク着用、換気など、**ガイドラインの遵守**を。
- ・感染リスクと下げするための留意事項の遵守や、接触確認アプリ（COCOA）などのダウンロードを、**利用客に働きかける**。



【すべての場面でこれからも引き続き守ってほしいこと】

- ・マスク着用や三密回避の徹底
- ・室内では換気を良くすること
- ・集まりは少人数、短時間で
- ・大声での会話は避けること
- ・共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底

今後の発熱等の症状のある方の相談・受診の流れ

発熱等の症状が生じた場合には、
まずはかかりつけ医等の地域で身近な
医療機関に電話で相談する

発熱患者等



電話相談

相談

かかりつけ医等の地域で身近な医療機関



受診・相談センター
(仮称)



Yes

診療・検査
可能であるか

No

案内のうえ
受診

診療・
検査

埼玉県指定
診療・検査医療機関

埼玉県では1,200医療機関を
目標に整備を進めている

診療・検査



インフルエンザ流行期等に備えた市立病院の対応

○ インフルエンザ流行期に想定される市立病院の課題

- 発熱患者が多数発生することが予想され、新病棟の感染外来では、発熱患者の動線の分離や十分な待合の確保ができないおそれ

旧病棟を活用した発熱外来

▶ 新病棟の感染外来で行っている発熱患者の検体採取と診療の一部を、旧病棟で実施する

【 実施概要 】

設置場所：旧病棟（西病棟1階の一部）

実施時期：11月20日頃～

受診方法：事前予約制

【 効果 】

- 一般外来患者と発熱患者の動線を分離
 - ▶ 一般外来患者と医療従事者への感染防止
- 発熱患者が安心して受診できる待合スペースを提供
 - ▶ 発熱外来での感染拡大を防止



～ 新型コロナウイルスの更なる感染拡大に備えて ～

「ピーク期」において、**新病院での病床の更なる増床を調整中**



▶ 市立病院としてもインフルエンザの流行期や新型コロナウイルス感染症の更なる拡大に備えて体制の整備を進める